

令和3年度事業計画書

令和3年3月11日

公益財団法人 名勝依水園・寧楽美術館

令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）事業計画の概要

令和2年度は新型コロナウイルスの影響から一時閉園、閉館を余儀なくされ、Go Toトラベルも一次停止となり、国内外からの観光客が激減した一年であった。令和3年度は、令和2年度より事業環境は良い方向に向かうと思われるが、多くは期待できない状況である。しかし基本的には、庭園、美術館のハード面、人的なソフト面の質を落とすことなく、昨年度事業をベースに随時見直しながら令和3年度の事業を遂行し、新型コロナウイルスの終息時には、速やかにもとの状態に復帰できるようにしたい。

1. 庭園事業について

庭園事業では、文化庁他の補助金による整備事業の完了後、自らの費用で維持しながらの公開が4年を経過した。増加を続けていた海外からの入園客は、令和2年度はほぼゼロとなったが、依然旅行サイトの観光施設の評価では、外国人を含め高い評価を継続している。令和3年度以降もこの評価を維持するため、令和2年度に引き続き庭園、建家の保全管理の維持向上を図り、年間を通じてすべての火曜日を休園とするとともに、9月下旬および12月末から1月中旬に庭園整備のための休園期間を設ける。また、令和2年度に引き続き文化庁他の補助金による柳生堂の修復事業を行う。なお、平成27年度より開始した庭園整備特別準備金の積立については収支状況から難しい面はあるが、今年度以降も継続していく予定である。

(1) 補助金事業について

令和2年度は、柳生堂の屋根葺き替え、蔵の修理の補助金事業が認められ実施した。引き続き柳生堂の屋根葺き替えの補助金事業申請を行い、令和3年度の補助金事業として認められた。事業費24,000千円

(内訳 12,000千円が文化庁補助額、3,600千円が県補助額、2,640千円が市補助額、5,760千円が当財団負担額)

2. 美術館事業

美術館事業では、前期展として4月7日(水)から7月26(月)まで、「花をたずねて」を開催する。このなかで、令和元年度(公財)出光文化福祉財団「美術品修復事業助成」を受けて修復を行った山本梅逸 花鳥図屏風(二曲一双)を修復後初めて公開する。

(1) 展覧会

【前期展】

テーマ:「花をたずねて」

概要: 依水園の庭園が芽吹きを迎える季節に、花をテーマとした美術作品を展示する。絵画をはじめ、花卉のかたちを意匠に取り入れた工芸品などをご紹介します。野山をめぐって小さ

な花に会うように、お楽しみいただけるような展示を行う。

会 期：4月7日(水)～7月26日(月) 97日間

*5/4(火)・5/5(水)は開園、5/6(木)は休園

6/1(火)は依水園開園記念日のため開園

展示内容：(企画室)花鳥図屏風、花鳥図襖、瓦、鏡、茶碗、鉢、皿、^{ごうし}盒子

◆令和元年度(公財)出光文化福祉財団「美術品修復事業助成」を受けて修復を行った山本梅逸 花鳥図屏風(二曲一双)を修復後初めて公開する。

(常設室)中国の^{たいこう}帯鉤・印章、韓国の陶磁器、日本の陶磁器

◆特別陳列 重要文化財 田能村竹田 亦復一楽帖 第一図 雲無心

展示期間 4/7(水)～4/22(木)

【後期展】

テ ー マ：「加藤慈雨楼展(仮称)」

概 要：清水の陶工にして在野の中国古印研究者であった^{かとうじゅうろう}加藤慈雨楼(1904-2000)の知られざる事績を紹介する。

会 期：8月11日(水)～12月26日(日) 113日間

注1) 9月21日(火)～28日(火) 庭園整備期間で閉園・閉館

注2) 美術館は、令和4年1月～3月末迄、庭園整備及び下記イベント等開催のため閉館とし、その間学芸部は美術品の資料整理及び次回展示の準備と研究期間とする。

(2) 美術品の修復について

開館55周年(2025年)記念展に向けて所蔵美術品の修復事業積立を実施中であるが、新型コロナウイルスの影響、財団の運営状況や修復の緊急性を鑑み、開館60周年(2030年)を目標に計画を変更し修復事業を進めることも検討したい。

(3) 美術品貸出について

① 作 品：与謝蕪村「山水図」屏風(六曲一双)

貸出先：府中市美術館(東京都府中市)

展覧会：「与謝蕪村「ごちちない」を芸術にした画家」

会 期：前期 3月13日(土)～4月11日(日)

後期 4月13日(火)～5月9日(日)

展示期間：後期4月13日(火)～5月9日(日)

貸出期間：令和3年3月2日(火)～未定

貸出料：77,000円(税込)

② 作 品：森川杜園「融」

貸出先：奈良県立美術館

展覧会：特別展「生誕200周年記念 森川杜園展」

会 期：令和3年9月23日(木・祝)～11月14日(日)

貸出期間、貸出料等については未定

3. 催しについて

(1) 開園記念日

時 期：令和3年6月1日（火）

入園料金：500円

平成27年度より開始した、6月1日の開園記念日を割引料金とする企画を今年も継続して実施する。なお、この日の恒例となっていた、当財団敷地内三秀亭で煎茶美風流家元中谷美風氏による煎茶道を入園客に体験して頂くイベントについては、今年度も実施しない。

(2) お茶室見学会

時 期：令和4年2月上旬（5日間）

参加費：3,000円（予定）

平成25年より例年2月に奈良市主催で開催されている珠光茶会開催期間中、園内の茶室を公開する「依水園お茶室見学会」を開催している。通常公開していない建物内部を見学できる機会として好評を得ているので、今年度も継続して開催する。

(3) 依水園のひなまつり

時 期：令和4年2月（お茶室見学会終了後）～3月3日（木）の予定

場 所：立礼の間・藤の間

内 容：「曲水の宴」の平飾りのひな人形・5段飾り稚児雛人形

平成31年2月より開催している、当財団への寄贈品の曲水の宴の平飾りのひな人形等を展示する「依水園のひなまつり」を、今年度も引き続き開催する。

(4) 奈良工芸の粋

会期は未定

平成29年度より毎年3月に奈良新聞社が主催する、「奈良工芸の粋」展の会場として当園の美術館、主屋、茶室等を貸出し、奈良漆器、赤膚焼、一刀彫等の奈良の工芸品の展示、販売、茶席開設に協力している。今年度も奈良工芸の発展を支援するため継続協力する。

(5) 庭園大研究会

月1回、庭師の人材育成のために開講している「庭園大研究会」を今年度も継続して開催する。

4. その他

(1) 職員による庭園案内は、新型コロナウイルスの影響、状況をみながら再開実施する。

(2) 令和2年末より開始したTwitter、Facebookは、タイムリーな情報を継続発信する。

以 上